

2023年11月の天候（山形県）

目次

- 1 天候経過
- 2 日々の気圧配置
- 3 気候統計値
- 4 気象経過図
- 5 気象分布図
- 6 極値・順位値更新表
- 7 その他

山形地方気象台

本資料に関する問い合わせ先

山形地方気象台

T E L 023-622-0632

[注意事項]

本資料に掲載されている観測値は断り書きがない限り、山形は気象官署、酒田、新庄は特別地域気象観測所、鶴岡・長井・米沢は地域気象観測所の観測値を使用しております。資料中の観測値は速報値です。後日、内容を訂正・追加する場合があります。

なお、本資料の著作権は山形地方気象台が有しています。掲載されているデータや図表を利用する場合は「山形地方気象台の資料に拠った」旨記載してください。

また、営利を目的に増刷など行う場合は所定の手続きに拠るものとします。

1 天候経過（2023年11月）

【今月の特徴】

○高温、多雨 ○平年より遅い初雪

- ・上山中山で月降水量の多い方から11月として1位を更新した。
- ・鼠ヶ関で月平均気温の高い方から11月として1位を更新した。
- ・日最高気温及び日最低気温の高い方から11月として1位を更新する地点が複数あった。

【概況】

月

この期間、天気は周期的に変わった。低気圧は日本の北を通過することが多く、寒冷前線の通過や冬型の気圧配置による寒気の影響で大雨となる日があり、下旬は山沿いを中心に雪となる日もあった。

月平均気温はかなり高い。月降水量は多い、置賜ではかなり多く、庄内では平年並の所があった。月間日照時間は平年並、置賜と庄内では多い所、最上では少ない所があった。

上旬

前線と高気圧が交互に通過し、天気は短い周期で変化した。前線通過に伴って県内は雨となり、2日は置賜で、7日と10日は庄内で大雨となった所があった。

旬平均気温はかなり高い。旬降水量は平年並から多い、村山と最上では少ない所があった。旬間日照時間は平年並から多い、村山と最上では少ない所があった。

中旬

前半は西高東低の冬型の気圧配置、後半は低気圧や前線の影響で曇りや雨の日が多かった。特に17日から20日にかけては、庄内や置賜を中心に大雨となった所があった。

旬平均気温は平年並、庄内と最上では高い所があった。旬降水量は多いから平年並、置賜ではかなり多く、村山と最上でもかなり多い所があった。旬間日照時間は平年並から少ない、村山では多い所があった。

下旬

はじめは高気圧に覆われて晴れたが、その後は前線の通過や冬型の気圧配置の影響で曇りや雨の日が多く、24日と28日から29日にかけて大雨となった所があった。また、上空に寒気が入った25日と30日は山沿いを中心に雪となり、25日には山形で初雪（平年より9日遅い）を観測した。

旬平均気温は平年並から高い。旬降水量は多いまたはかなり多い。旬間日照時間は村山と置賜で多い、庄内と最上で平年並から少ない。

2 日々の気圧配置（2023年11月）

- 1日：本州付近は高気圧に覆われる。一方、オホーツク海の低気圧から寒冷前線が日本海にのびる。
- 2日：寒冷前線が北日本を通過する。一方、本州付近は高気圧に覆われる。
- 3日：本州付近は高気圧に覆われる。一方、サハリン付近の低気圧から前線が日本海にのびる。
- 4日：千島近海から日本海にのびる前線が東北地方を南下する。
- 5日：北日本は高気圧に覆われる。
- 6日：前線を伴った低気圧が朝鮮半島付近にあって発達しながら東北東へ進む。
- 7日：低気圧が北海道付近にあって東北東へ進み、寒冷前線が東北地方を通過する。
- 8日：東北地方は次第に高気圧に覆われる。
- 9日：北日本は高気圧に覆われる。
- 10日：オホーツク海の低気圧から日本海にのびる寒冷前線が北日本を通過する。
- 11日：北日本は西高東低の冬型の気圧配置となる。
- 12日：本州付近は気圧の谷となる。
- 13日：日本付近は冬型の気圧配置となる。
- 14日：北日本は冬型の気圧配置となる。
- 15日：東北地方は緩やかに高気圧に覆われる。
- 16日：北日本は高気圧に覆われる。
- 17日：前線を伴った低気圧が日本海と本州南岸にあって共に北東へ進む。
- 18日：発達した低気圧がサハリン付近にあって北東へ進む。
- 19日：日本付近は冬型の気圧配置となる。また、低気圧が日本海にあって東北東へ進む。
- 20日：三陸沖の低気圧から南西にのびる寒冷前線が東北地方を通過し、冬型の気圧配置に変わる。
- 21日：本州付近は高気圧に覆われる。
- 22日：本州付近は高気圧に覆われる。
- 23日：本州付近は高気圧に覆われる。
- 24日：オホーツク海の低気圧からのびる寒冷前線が東北地方を通過し、冬型の気圧配置に変わる。
- 25日：北日本は冬型の気圧配置となる。
- 26日：低気圧が日本海中部にあって秋田沖へ進む。
- 27日：低気圧が日本海にあって発達しながら東北東へ進む。
- 28日：北海道付近の低気圧からのびる寒冷前線が東北地方を通過し、冬型の気圧配置に変わる。
- 29日：北日本は冬型の気圧配置となる。
- 30日：日本付近は冬型の気圧配置となる。

3 気候統計値（2023年11月）

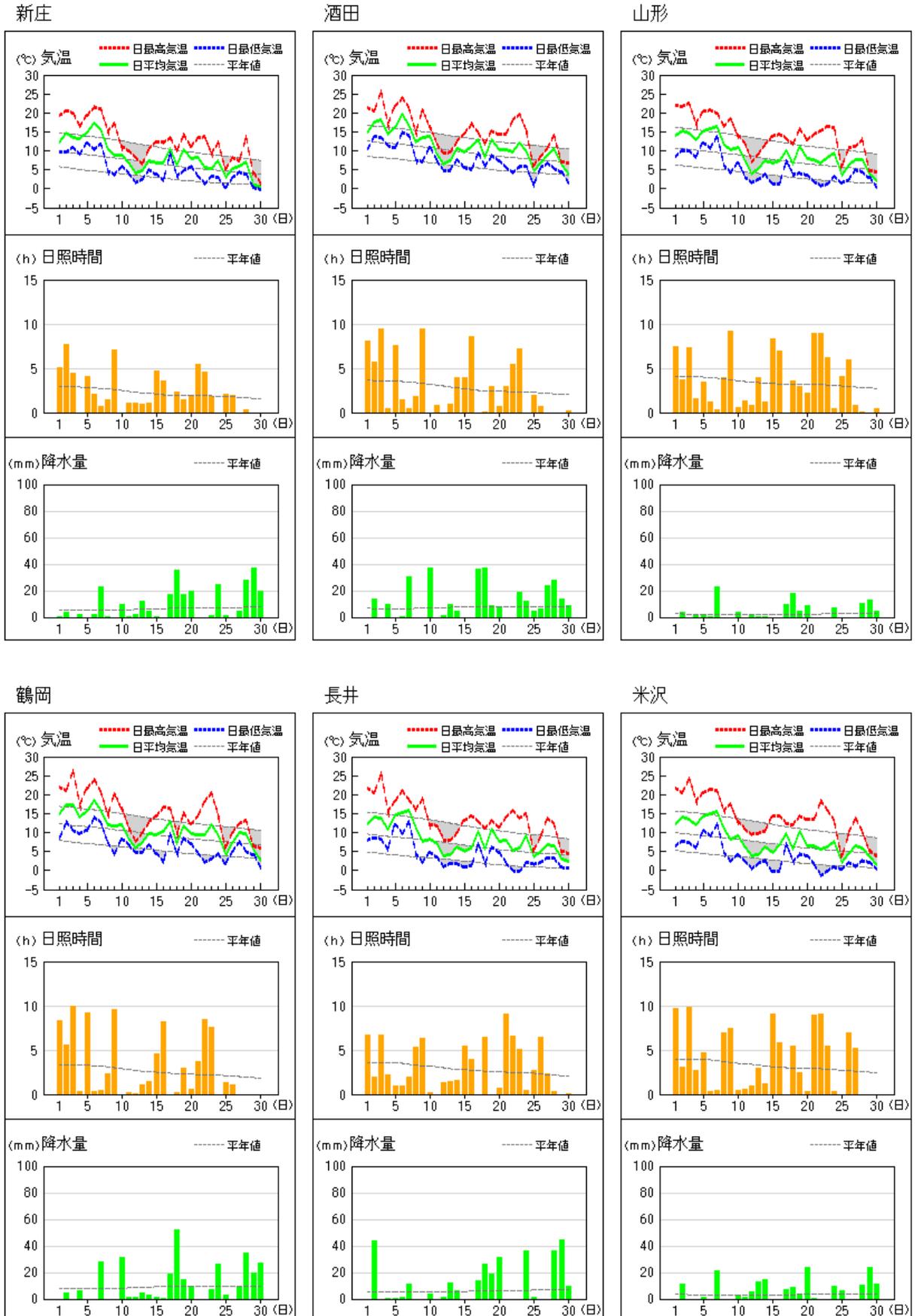
・2023年11月の平均気温、降水量、日照時間

		平均気温（℃）			降水量（mm）			日照時間（h）		
		本年	平年差 （℃）	階級区分	本年	平年比 （%）	階級区分	本年	平年比 （%）	階級区分
山形	上旬	13.8	+3.9	かなり高い	34.0	151	多い	38.8	95	平年並
	中旬	7.4	-0.2	平年並	44.5	172	かなり多い	31.4	102	平年並
	下旬	6.3	+0.6	平年並	35.0	134	多い	36.1	118	多い
	月	9.2	+1.5	かなり高い	113.5	153	多い	106.3	104	平年並
酒田	上旬	15.8	+4.0	かなり高い	91.5	142	多い	44.5	121	多い
	中旬	9.9	+0.4	平年並	105.5	134	多い	21.8	87	平年並
	下旬	8.3	+0.5	高い	115.5	147	かなり多い	18.6	81	少ない
	月	11.3	+1.6	かなり高い	312.5	141	多い	84.9	101	平年並
新庄	上旬	13.0	+4.2	かなり高い	41.0	79	平年並	32.6	112	多い
	中旬	7.2	+0.7	高い	109.0	162	多い	18.1	95	平年並
	下旬	5.0	+0.3	平年並	117.0	166	かなり多い	16.2	88	平年並
	月	8.4	+1.7	かなり高い	267.0	143	多い	66.9	100	平年並
米沢	上旬	12.6	+3.5	かなり高い	36.5	114	平年並	45.6	115	多い
	中旬	6.4	-0.5	平年並	77.0	225	かなり多い	29.0	98	平年並
	下旬	5.1	0.0	平年並	62.0	163	多い	36.1	130	多い
	月	8.0	+0.9	高い	175.5	167	かなり多い	110.7	114	多い

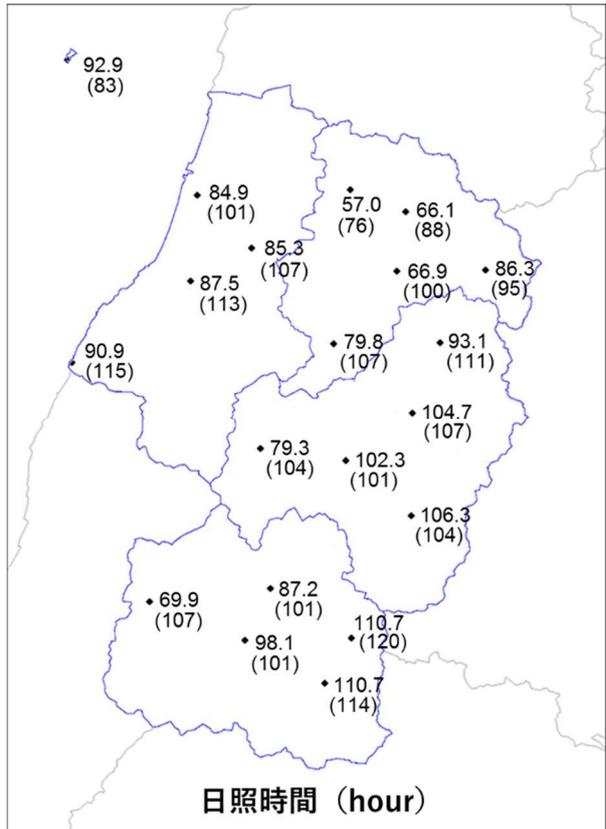
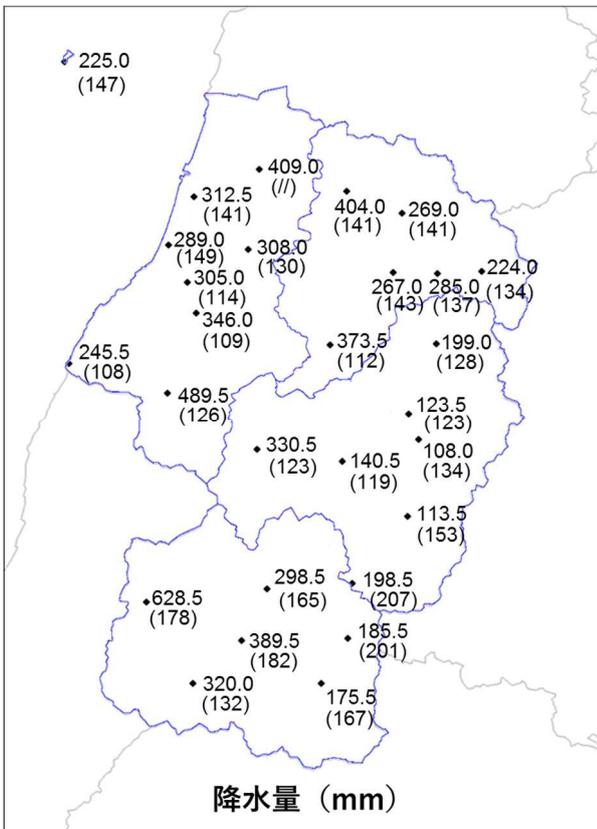
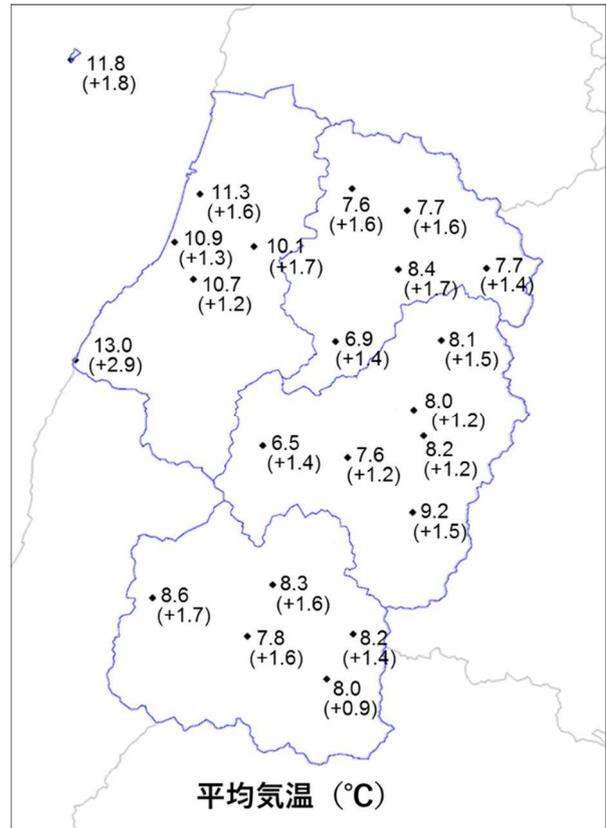
注】次の表示 X:欠測) : 準正常値] : 資料不足値 - : 現象なし (平年値は1991～2020年の平均値)

4 気象経過図（2023年11月）

アメダス 気象経過図：2023年11月01日-2023年11月30日



5 気象分布図（2023年11月）



注】Xは欠測、)は準正常値、]は資料不足値を示す。

平均気温の()内は平年差(°C)、降水量の()内は平年比(%)、日照時間の()内は平年比(%)を示す。

//は平年値なし。平年値は1991~2020年の平均値。

6 極値・順位値更新表 (2023年11月)

気象官署及び特別地域気象観測所(山形・酒田・新庄) 11月として1位～3位更新を記載

要素名 (単位)	地点名	観測値	順位	観測日	統計開始
日最大1時間降水量 (mm)	山形	13.5	2	7日	1931年
日最高気温の高い方から (℃)	酒田	25.8	1	3日	1937年
日最低気温の高い方から (℃)	山形	13.9	1	7日	1889年

地域気象観測所(山形・新庄・酒田除く): 11月として1位更新を記載(統計期間10年以上)

要素名 (単位)	地点名	観測値	順位	観測日	統計開始
日最大1時間降水量 (mm)	長井	19.0	1	2日	1976年
	上山中山	11.0	1	7日	2006年
	高畠	16.0	1	2日	1977年
	米沢	15.5	1	7日	1976年
月降水量の多い方から (mm)	上山中山	198.5	1	—	2006年
日最高気温の高い方から (℃)	飛島	23.1	1	3日	1978年
	差首鍋	21.2	1	6日	1976年
	浜中	25.3	1	3日	2003年
	金山	22.8	1	6日	1976年
	鶴岡	26.3	1	3日	1977年
	向町	24.1	1	3日	1976年
	鼠ヶ関	27.0	1	6日	1977年
	村山	22.7	1	6日	2002年
	大井沢	24.0	1	3日	1979年
	長井	25.7	1	3日	1977年
	高畠	24.9	1	3日	1977年
日最低気温の高い方から (℃)	飛島	18.6	1	3日	1978年
	浜中	14.2	1	6日	2003年
	鼠ヶ関	17.6	1	6日	1977年
月平均気温の高い方から (℃)	鼠ヶ関	13.0	1	—	1977年
日最大瞬間風速 (m/s・16方位)	高畠	17.5・WSW	1	19日	2009年

7 その他

・生物季節観測

気象庁では、全国の気象官署で統一した基準により「うめ」・「さくら」の開花した日、「かえで」・「いちょう」が紅（黄）葉した日などの植物季節観測を行っています。

【生物季節観測】（2023年11月）

種目	現象	2023年	平年	平年との差	2022年	昨年との差	観測した場所
いちょう	黄葉	11月20日	11月10日	10日遅い	11月11日	9日遅い	熊野神社※
いちょう	落葉	11月30日	11月21日	9日遅い	11月22日	8日遅い	熊野神社※

2023年の生物季節観測の状況は山形地方気象台のホームページに掲載しています。 ※山形市六日町
<https://www.data.jma.go.jp/yamagata/detail/phenology.html>

・季節現象観測

気象庁では、雪、霜、結氷、冠雪の観測を行っています。2024寒候年（2023年8月から2024年7月までの期間）に初めて現象を観測した日を「初冠雪」「初霜」などとして発表しています。

【霜・結氷・雪】（2023年11月）

現象	2024寒候年	平年	平年との差	2023寒候年	昨年との差
初霜	11月12日	11月4日	8日遅い	10月25日	18日遅い
初氷	11月12日	11月7日	5日遅い	10月25日	18日遅い
初雪	11月25日	11月16日	9日遅い	11月30日	5日早い

2024寒候年の季節現象観測の状況は山形地方気象台のホームページに掲載しています。
<https://www.data.jma.go.jp/yamagata/detail/winter.html>